

2008年 1 月 20 日実施

平成19年度（第38回）  
情報処理検定試験  
〈プログラミング部門〉  
第2級 試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 8 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 【1】 【2】 【3】 【4】 は共通問題です。
5. 【5】 【6】 【7】 の問題は、COBOL・イベント駆動型 BASICのどちらか 1 つを選択し、解答用紙の選択言語を  で囲んでください。
6. 電卓などの計算用具は使用できません。
7. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
8. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
9. 制限時間は50分です。

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. 10進数の3と2進数の1010の和を表す2進数。
2. インターネットに代表されるネットワークを利用して、商品などの売買を行うこと。
3. 研究や開発などによって生み出された創作物を、登録者が一定期間独占的に使用できる権利。
4. コンピュータネットワークに対する外部からの不正な侵入や破壊行為を、未然に防ぐシステム。
5. 用紙の決められた位置に書き込まれたマークを、光学的に読み取る装置。

解答群

ア. なりすまし	イ. 肖像権	ウ. 産業財産権	エ. パッチ	オ. OMR
カ. 1101	キ. 1110	ク. 電子商取引	ケ. ファイアウォール	コ. OCR

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- | A群           | B群  |
|--------------|---|
| 1. 磁気ヘッド     | ア. ソフトウェアの不具合などによるシステム安全機能上の欠陥。                                       |
| 2. アーカイバ     | イ. データやソフトウェアをより新しい状態に書き換えること。  |
| 3. 無線LAN     | ウ. ケーブルで接続された限定地域で、多様なサービスを提供するテレビ放送システム。                             |
| 4. スプリッタ     | エ. ADSLによるデータ通信を行う際に、音声信号とデータ信号を分離するための装置。                            |
| 5. セキュリティホール | オ. デジタル信号とアナログ信号の相互変換を行う装置。   |
|              | カ. データの伝送路として、ケーブルの代わりに電波を使用したネットワーク。                                 |
|              | キ. 動画ファイルや音声ファイルなどのように、文字として読み出すことができない2進数形式のファイル。                    |
|              | ク. 磁気ディスク装置内にあり、データの読み書き、消去を行う部分を、目的の位置に移動させるための部品。                   |
|              | ケ. 磁気ディスク装置内にあり、データの読み書き、消去を行う部分。                                     |
|              | コ. 複数のファイルを1つのファイルにまとめたり、まとめたファイルを元に戻したりするためのソフトウェア。圧縮や解凍の機能を持つものが多い。 |

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 静止画を点の集合で表し、圧縮せずに保存したファイル形式。
 

ア. BMP	イ. GIF	ウ. PNG
--------	--------	--------
2. プログラムを一括して機械語に翻訳する言語プロセッサ。
 

ア. アセンブリ言語	イ. コンパイラ	ウ. インタプリタ
------------	----------	-----------
3. 作者の著作権を保持したまま、利用者が期間に関係なく無料で利用できるソフトウェア。
 

ア. サイトライセンス	イ. シェアウェア	ウ. フリーウェア
-------------	-----------	-----------
4. フロッピーディスクにおいて、データの読み書きを行う記憶領域の最小単位。
 

ア. シリンダ	イ. セクタ	ウ. トラック
---------	--------	---------
5. UNIXというオペレーティングシステムを記述するために開発された、移植性、汎用性に優れたプログラム言語。
 

ア. Java	イ. COBOL	ウ. C言語
---------	----------	--------

## 【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

- (1) 試験用データを用いて、作成したプログラムを実行すること。
- (2) 処理手順やデータの流れを、記号を用いて表したもの。
- (3) Aの値が70以上か、またはBの値が70未満の判定を行う場合の条件式。

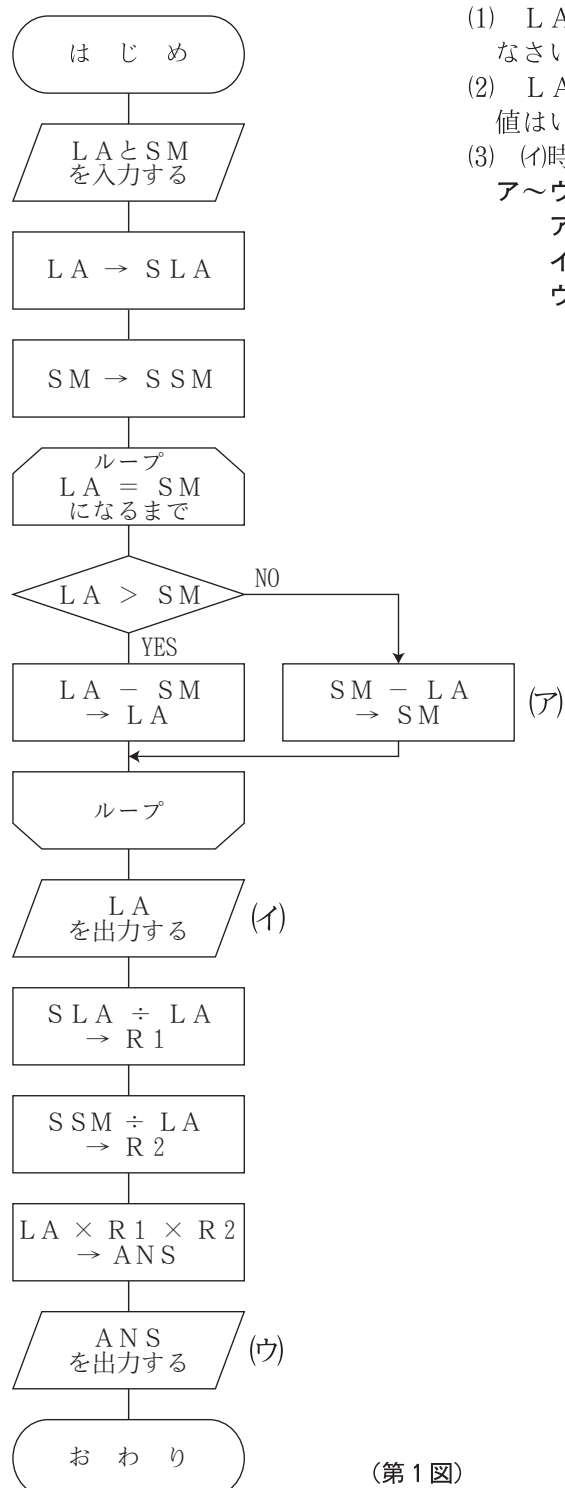
## 解答群

ア. デバッグ  
エ. フローチャート

イ. テストラン  
オ. スペーシングチャート

ウ.  $A \geq 70 \text{ AND } B \leq 70$   
カ.  $A \geq 70 \text{ OR } B < 70$

問2. 第1図の流れ図にしたがって処理するとき、次の(1)~(3)に答えなさい。なお、入力する値は、正の整数である。



(1) LAの値が48, SMの値が22のとき、(ア)は何回実行されるか答えなさい。

(2) LAの値が75, SMの値が105のとき、(ウ)で出力されるANSの値はいくつか答えなさい。

(3) (イ)時点での変数の値について説明した文で、正しいものはどれか、ア~ウから選び、記号で答えなさい。

ア. LAは、必ずSMより大きい値となる。

イ. SLAとSSMは、LAの倍数ではない。

ウ. SLAとSSMは、LAの倍数である。

(第1図)

# [COBOL選択者のための問題]

2008.01 2-③

【5】 第1図のようなある携帯電話会社の12月の顧客ファイルを読み、処理条件にしたがって第2図のように印字する。プログラムの空欄にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

### 入力形式

(ファイル名: KOKYAKU-F, レコード名: KOKYAKU-R)

顧客コード (KODO)	契約プラン (PURAN)	利用期間(月) (KIKAN)	通話時間(分) (TUWA)
××××	×	×××	×××

(第1図)

### 処理条件

- 第1図のファイルを読み、第2図のように顧客コードから割引までを印字する。
- 基本料金および1分間あたりの通話料金は、契約プランによって分かれており、電話料金を次の計算式で求める。なお、各契約プランにおける料金は、第3図のとおりとする。

$$\text{電話料金} = \text{基本料金} + \text{通話時間(分)} \times \text{1分間あたりの通話料金}$$

プラン名	契約プラン	基本料金	1分間あたりの通話料金
エコノミー	E	3,600 円	40 円
スタンダード	S	4,600 円	30 円
プレミアム	P	6,600 円	10 円

(第3図)

- 利用期間(月)が12か月を超えている場合は、基本料金を半額として計算し、第2図の割引に「◎」を印字する。
- ファイルを読み終えたあと、電話料金合計を印字する。
- 入力データにエラーはないものとする。

### 解答群

- ア. KIKAN >= 12
- イ. GOKEI = GOKEI + KIHON
- ウ. PURAN = "S"
- エ. GOKEI = GOKEI + RYOKIN
- オ. MOVE 3600 TO TUWA
- カ. KIHON + TUWA \* TUWATAN
- キ. PURAN = "P"
- ク. MOVE 3600 TO KIHON
- ケ. KIHON + KIKAN \* TUWATAN
- コ. KIKAN > 12

### WORKING-STORAGE SECTION.

```

01 SW PIC 9(01).
01 GOKEI PIC 9(07).
01 KIHON PIC 9(04).
01 TUWATAN PIC 9(02).
01 RYOKIN PIC 9(05).
01 MEISAI-GYO.
02 PIC X(03) VALUE SPACE.
02 M-KODO PIC X(04).
02 PIC X(06) VALUE SPACE.
02 M-PURAN PIC X(01).
02 PIC X(08) VALUE SPACE.
02 M-KIKAN PIC ZZ9.
02 PIC X(06) VALUE SPACE.
02 M-TUWA PIC ZZ9.
02 PIC X(04) VALUE SPACE.
02 M-RYOKIN PIC ZZ,ZZ9.
02 PIC X(02) VALUE SPACE.
02 M-WARIBIKI PIC X(02).
01 GOKEI-GYO.
02 PIC X(35) VALUE SPACE.
02 G-GOKEI PIC Z,ZZZ,ZZ9.
    
```

### 出力形式

(ファイル名: ITIRAN-F, レコード名: ITIRAN-R)

(12月の電話料金一覧表)					
(顧客コード)	(契約プラン)	(利用期間(月))	(通話時間(分))	(電話料金)	(割引)
2024	E	14	245	11,600	◎
3065	P	10	340	10,000	
S	S	S	S	S	S
3878	P	22	600	9,300	◎
5186	S	8	11	4,930	
				(電話料金合計) 4,898,760	

(第2図)

PROCEDURE DIVISION.

P1. OPEN INPUT KOKYAKU-F OUTPUT ITIRAN-F

MOVE 0 TO SW

MOVE 0 TO GOKEI

PERFORM UNTIL SW = 1

READ KOKYAKU-F

AT END

MOVE 1 TO SW

NOT AT END

IF PURAN = "E"

THEN

(1)

MOVE 40 TO TUWATAN

ELSE

IF (2)

THEN

MOVE 4600 TO KIHON

MOVE 30 TO TUWATAN

ELSE

MOVE 6600 TO KIHON

MOVE 10 TO TUWATAN

END-IF

END-IF

IF (3)

THEN

COMPUTE KIHON = KIHON / 2

MOVE "◎" TO M-WARIBIKI

ELSE

MOVE " " TO M-WARIBIKI

END-IF

COMPUTE RYOKIN = (4)

MOVE KODO TO M-KODO

MOVE PURAN TO M-PURAN

MOVE KIKAN TO M-KIKAN

MOVE TUWA TO M-TUWA

MOVE RYOKIN TO M-RYOKIN

WRITE ITIRAN-R FROM MEISAI-GYO AFTER 1

COMPUTE (5)

END-READ

END-PERFORM

MOVE GOKEI TO G-GOKEI

WRITE ITIRAN-R FROM GOKEI-GYO AFTER 1

CLOSE KOKYAKU-F ITIRAN-F

STOP RUN.

# [COBOL選択者のための問題]

【6】 第1図のようなあるフェリー会社の乗船ファイルを読み、処理条件にしたがって、第2図のように乗船料金一覧表を印字する。第5図の流れ図(1)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

大人人数 (OT) ××	こども人数 (KO) ××	自動車の長さ (JM) ××
--------------------	---------------------	----------------------

(第1図)

処理条件

(1) このフェリー会社の料金は、次のとおりである。

- ① 1人あたりの料金：  
大人料金 2,000円 こども料金 1,000円
- ② 自動車料金表 (単位：円)

自動車の長さ	料金
3 m未満	4,300
3 m以上～6 m未満	4,800
6 m以上～9 m未満	7,300
9 m以上～12 m未満	10,300
12 m以上～15 m未満	13,500
自動車の長さが15 m以上の場合は、1 m増すごとに、自動車料金表の最大料金に1,200円ずつ加算する。	

(第3図)

(2) 第1図のファイルを読み、第2図のように、大人人数から乗船料金までを印字する。なお、旅客運賃と乗船料金は次の計算式で求める。

$$\text{旅客運賃} = \text{大人人数} \times \text{大人料金} + \text{こども人数} \times \text{こども料金}$$

$$\text{乗船料金} = \text{旅客運賃} + \text{自動車料金}$$

(3) 第4図のテーブル JMKIN-T には、第3図の料金が記憶されており、第1図の自動車の長さをもとに、JMKIN-Tを利用して自動車料金を求める。なお、自動車の利用がない場合は、自動車の長さに0が入力されている。

テーブル JMKIN-T

JMKIN	4300	4800	7300	10300	13500
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

(第4図)

- (4) ファイルを読み終えたあと、大人人数合計、こども人数合計、乗船料金合計を印字し、処理を終了する。
- (5) 入力データにエラーはないものとする。

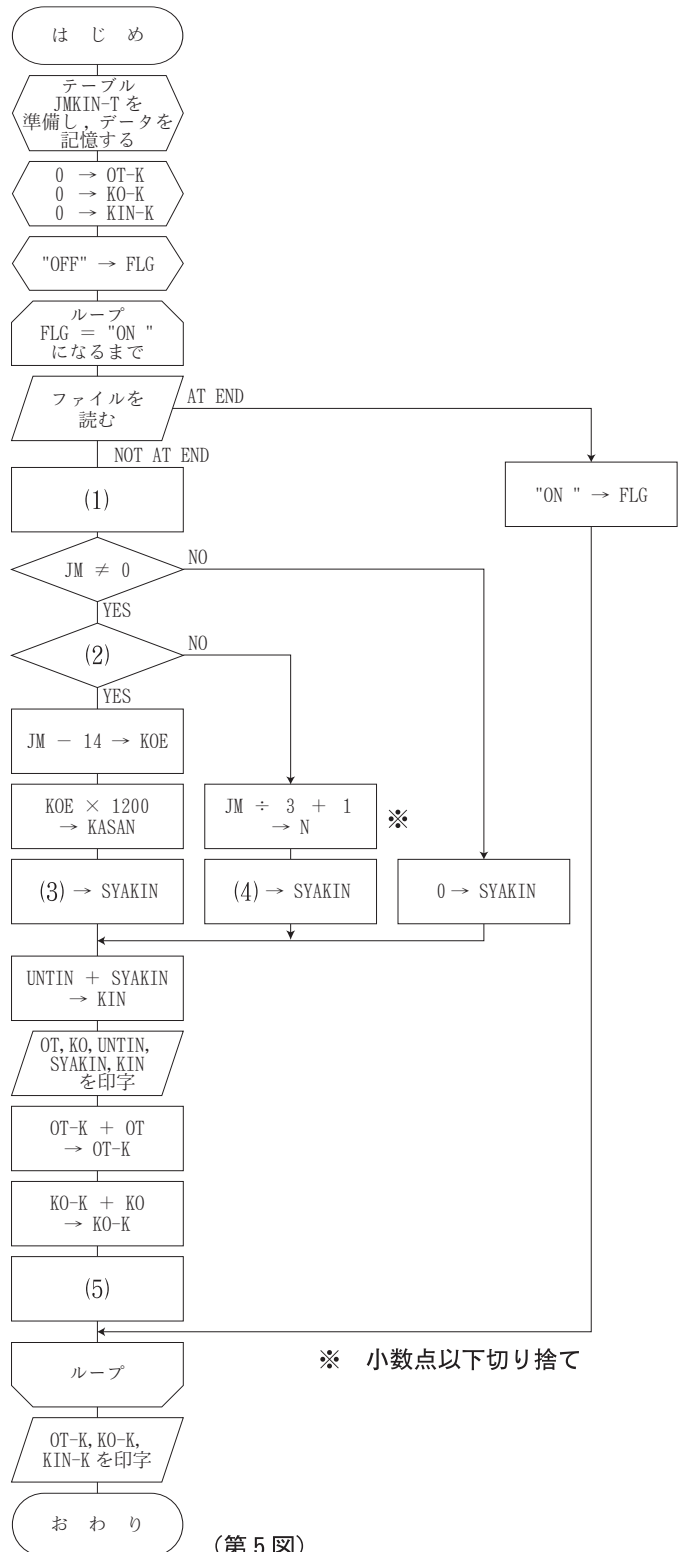
解答群

- ア. JMKIN(N)
- イ. JMKIN(JM) + KASAN
- ウ. JM > 15
- エ. JMKIN(5) + KASAN
- オ. OT × 1000 + KO × 2000 → UNTIN
- カ. KIN-K + KIN → KIN-K
- キ. OT × 2000 + KO × 1000 → UNTIN
- ク. JMKIN(JM) + JMKIN(N)
- ケ. JM ≥ 15
- コ. UNTIN + SYAKIN → KIN-K

出力形式

(乗船料金一覧表)				
(大人人数)	(こども人数)	(旅客運賃)	(自動車料金)	(乗船料金)
××	××	××,×××	××,×××	××,×××
}	}	}	}	}
××	××	××,×××	××,×××	××,×××
(大人人数合計)	(こども人数合計)			(乗船料金合計)
×××	×××			×××,×××

(第2図)



※ 小数点以下切り捨て

(第5図)

# [COBOL選択者のための問題]

【7】 第1図のようなあるマラソン大会の申込者ファイルを読み、処理条件にしたがって第2図のように印字するプログラムの空欄をうめなさい。

入力形式

(ファイル名：MARASON-F, レコード名：MARASON-R)

氏名 (NAMEE)	年齢 (NEN)	性別コード (SEIBETU)	種目コード (KODO)
×～×	×××	×	×××

(第1図)

処理条件

(1) 第3図のテーブル S-KODO-T には種目コード、  
テーブル MEI-T には種目名が記憶されている。

テーブル S-KODO-T

S-KODO	101	102	～	402
	(1)	(2)	～	(10)

テーブル MEI-T

MEI	10km男子	10km女子	～	フルマラソン女子
	(1)	(2)	～	(10)

(第3図)

(2) 第1図のファイルを読み、種目コードをもとに  
第3図のテーブル S-KODO-T を探索し、第4図の  
テーブル SYUKEI-T に種目別の申込者数を集計する。

テーブル SYUKEI-T

SYUKEI			～	
	(1)	(2)	～	(10)

(第4図)

(3) 第5図のテーブル SAISYO-T に種目別の最年少申  
込者年齢を記憶する。なお、第3図から第5図まで  
のすべてのテーブルは添字で対応している。

テーブル SAISYO-T

SAISYO			～	
	(1)	(2)	～	(10)

(第5図)

(4) ファイルを読み終えたあと、第2図のように種目  
別申込者数集計表と男女別申込者数集計表を印字し、  
処理を終了する。なお、性別コードは1が男子、  
2が女子である。

(5) 申込者はすべての種目におり、入力データにエラー  
はないものとする。

WORKING-STORAGE SECTION.

```

01 E-SW      PIC 9(01).
01 T         PIC 9(02).
01 N         PIC 9(02).
01 S         PIC 9(02).
01 DANSI    PIC 9(04).
01 JYOSI    PIC 9(04).
           }
01 SYUKEI-R.
02          PIC X(02) VALUE SPACE.
02 S-MEI    PIC X(10).
02          PIC X(06) VALUE SPACE.
02 S-SYUKEI PIC Z, ZZ9.
02          PIC X(10) VALUE SPACE.
02 S-NENREI PIC ZZZ.
    
```

出力形式

(ファイル名：KEKKA-F, レコード名：KEKKA-R)

(マラソン大会申込状況)

(種目別申込者数集計表)

(種目名) (申込者数) (最年少申込者年齢)

10km男子	105	16
}	}	}
フルマラソン女子	398	18

(男女別申込者数集計表)

(性別) (申込者数)

男子	1,018
女子	914

(第2図)

PROCEDURE DIVISION.

```

P1. OPEN INPUT MARASON-F OUTPUT KEKKA-F
    INITIALIZE E-SW (ア) DANSI JYOSI
    MOVE 1 TO T
    PERFORM UNTIL T > 10
        MOVE 999 TO SAISYO(T)
        COMPUTE T = T + 1
    END-PERFORM
    PERFORM UNTIL E-SW = 1
        READ MARASON-F
        AT END
            MOVE 1 TO E-SW
        NOT AT END
            MOVE 1 TO N
            PERFORM UNTIL (イ)
                COMPUTE N = N + 1
            END-PERFORM
            COMPUTE SYUKEI(N) = SYUKEI(N) + 1
            IF NEN < SAISYO(N)
                THEN (ウ)
            END-IF
        END-IF
        IF (エ)
            THEN
                COMPUTE DANSI = DANSI + 1
            ELSE
                COMPUTE JYOSI = JYOSI + 1
            END-IF
        END-READ
    END-PERFORM
    MOVE 1 TO S
    PERFORM UNTIL S > 10
        MOVE (オ) TO S-MEI
        MOVE SYUKEI(S) TO S-SYUKEI
        MOVE SAISYO(S) TO S-NENREI
        WRITE KEKKA-R FROM SYUKEI-R AFTER 1
        COMPUTE S = S + 1
    END-PERFORM
    INITIALIZE SYUKEI-R
    MOVE "男子" TO S-MEI
    MOVE DANSI TO S-SYUKEI
    WRITE KEKKA-R FROM SYUKEI-R AFTER 1
    MOVE "女子" TO S-MEI
    MOVE JYOSI TO S-SYUKEI
    WRITE KEKKA-R FROM SYUKEI-R AFTER 1
    CLOSE MARASON-F KEKKA-F
    STOP RUN.
    
```

# [イベント駆動型BASIC選択者のための問題]

2008.01 2-⑥

【5】 第1図のようなある携帯電話会社の12月の顧客データを入力し、処理条件にしたがって第2図の実行形式のように表示する。プログラムの空欄にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

フォーム

電話料金計算表

入力欄

顧客コード      利用期間(月)      通話時間(分)

Text1            Text2            Text3

契約プラン

Option1       Option2       Option3

Command1      Command2      Command3

電話料金      割引      電話料金合計

Label1          Label2          Label3

(第1図)

実行形式

電話料金計算表

入力欄

顧客コード      利用期間(月)      通話時間(分)

2024            13            245

契約プラン

エコノミー       スタンダード       プレミアム

計算      クリア      終了

電話料金      割引      電話料金合計

11,600          ☆          1,568,260

(第2図)

処理条件

- 第2図のように顧客コード、利用期間(月)、通話時間(分)を入力し、契約プランを設定する。
- 「計算」ボタンをクリックすると、契約プランをもとに、第3図にしたがって基本料金および1分間あたりの通話料金を設定し、電話料金を次の計算式によって求めて表示する。

電話料金 = 基本料金 + 通話時間(分) × 1分間あたりの通話料金

プラン名	契約プラン	基本料金	1分間あたりの通話料金
エコノミー	E	3,600 円	40 円
スタンダード	S	4,600 円	30 円
プレミアム	P	6,600 円	10 円

(第3図)

- 利用期間(月)が12か月を超えている場合は、基本料金を半額として計算し、第2図の割引に「☆」を表示する。
- 第2図の電話料金合計は、入力時点までの電話料金の合計を表示する。
- 表示に関する設定は、第2図の実行形式のとおりとする。また、入力データにエラーはなく、操作は正常に行われるものとする。

解答群

- ア. Kikan >= 12
- イ. Gokei = Gokei + Kihon
- ウ. Puran = "S"
- エ. Gokei = Gokei + Ryokin
- オ. Tuwa = 3600
- カ. Kihon + Tuwa \* Tuwatan
- キ. Puran = "P"
- ク. Kihon = 3600
- ケ. Kihon + Kikan \* Tuwatan
- コ. Kikan > 12

```
Option Explicit
Dim Gokei As Long
Dim Puran As String

Private Sub Form_Load()
    Gokei = 0
    Call Syokyo
    Label1.Caption = ""
    Label2.Caption = ""
    Label3.Caption = ""
End Sub

Private Sub Command3_Click() (終了)
    End
End Sub
```

```
Private Sub Option1_Click() (エコノミー)
    Puran = "E"
End Sub

Private Sub Option2_Click() (スタンダード)
    Puran = "S"
End Sub

Private Sub Option3_Click() (プレミアム)
    Puran = "P"
End Sub

Private Sub Command1_Click() (計算)
    Dim Kokyaku As String
    Dim Kikan As Integer
    Dim Tuwa, Tuwatan, Kihon, Ryokin As Long
    Kokyaku = Text1.Text
    Kikan = Val(Text2.Text)
    Tuwa = Val(Text3.Text)
    If Puran = "E" Then
        (1)
        Tuwatan = 40
    Else
        If (2) Then
            Kihon = 4600
            Tuwatan = 30
        Else
            Kihon = 6600
            Tuwatan = 10
        End If
    End If
    If (3) Then
        Kihon = Kihon / 2
        Label2.Caption = "☆"
    Else
        Label2.Caption = ""
    End If
    Ryokin = (4)
    Label1.Caption = Format(Ryokin, "###,##0")
    (5)
    Label3.Caption = Format(Gokei, "#,###,##0")
End Sub

Private Sub Command2_Click() (クリア)
    Call Syokyo
End Sub

Private Sub Syokyo() (消去)
    Text1.Text = ""
    Text2.Text = ""
    Text3.Text = ""
    Option1.Value = True
    Puran = "E"
End Sub
```

# [イベント駆動型BASIC選択者のための問題]

【6】 第1図のようなあるフェリー会社の乗船データを読み、処理条件にしたがって、第2図のように乗船料金一覧表を表示する。第5図の流れ図(1)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

大人人数 (Ot) ××	こども人数 (Ko) ××	自動車の長さ (Jm) ××
--------------------	---------------------	----------------------

(第1図)

処理条件

(1) このフェリー会社の料金は、次のとおりである。

- ① 1人あたりの料金：  
大人料金 2,000円 こども料金 1,000円
- ② 自動車料金表 (単位：円)

自動車の長さ	料金
3 m未満	4,300
3 m以上～6 m未満	4,800
6 m以上～9 m未満	7,300
9 m以上～12 m未満	10,300
12 m以上～15 m未満	13,500
自動車の長さが15 m以上の場合は、1 m増すごとに、自動車料金表の最大料金に1,200円ずつ加算する。	

(第3図)

(2) フォームロード時に、第3図の料金を第4図の配列 JmKin に記憶する。

配列

JmKin	4300	4800	7300	10300	13500
	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)

(第4図)

(3) 「処理」ボタンをクリックすると、第1図のデータを読み、第2図のように、大人人数から乗船料金までを表示する。なお、旅客運賃と乗船料金は次の計算式で求める。

$$\text{旅客運賃} = \text{大人人数} \times \text{大人料金} + \text{こども人数} \times \text{こども料金}$$

$$\text{乗船料金} = \text{旅客運賃} + \text{自動車料金}$$

(4) 自動車の長さをもとに、第4図の配列 JmKin を利用して自動車料金を求める。なお、自動車の利用がない場合は、自動車の長さに0が入力されている。

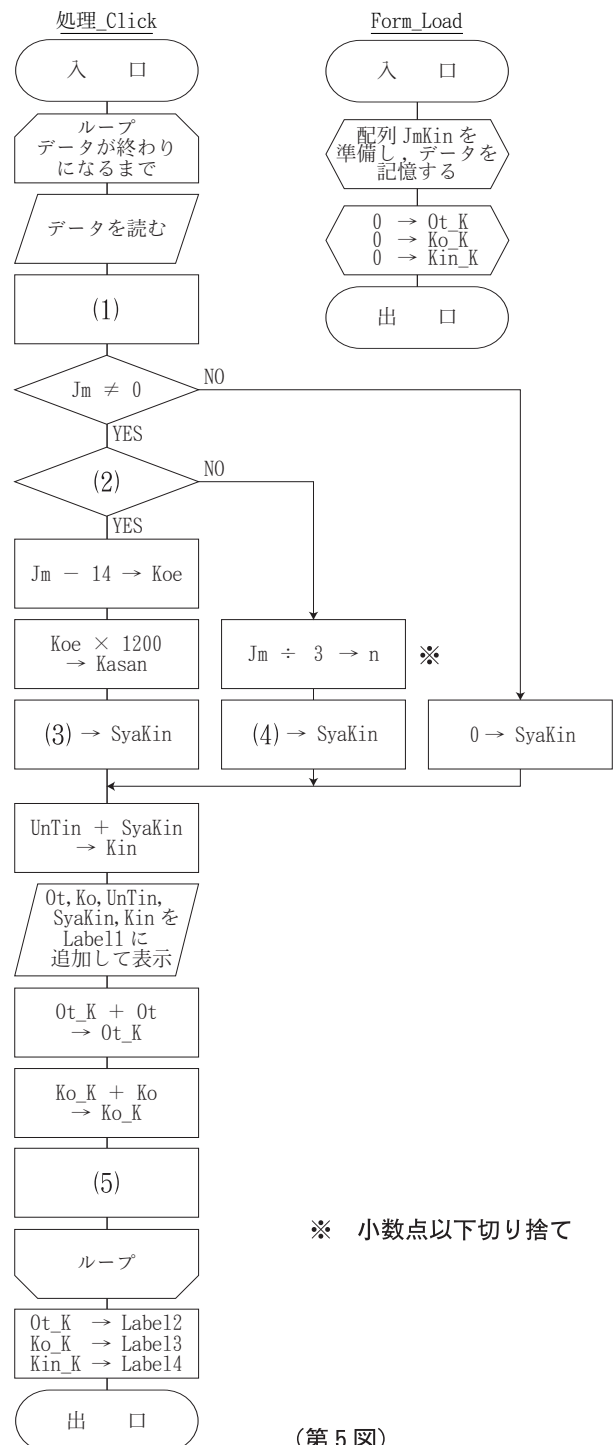
(5) データを読み終えたあと、大人人数合計、こども人数合計、乗船料金合計を表示する。

(6) 表示に関する設定は、第2図の実行形式のとおりとする。また、入力データにエラーはなく、操作は正常に行われるものとする。

実行形式

乗船料金一覧表				
大人人数	こども人数	旅客運賃	自動車料金	乗船料金
××	××	××,×××	××,×××	××,×××
＼	＼	＼	＼	＼
大人人数合計		こども人数合計		乗船料金合計
×××		×××		×××,×××
(Label12)		(Label13)		(Label14)
処理			終了	

(第2図)



※ 小数点以下切り捨て

(第5図)

解答群

- ア. JmKin(n)
- イ. JmKin(Jm) + Kasan
- ウ. Jm > 15
- エ. JmKin(4) + Kasan
- オ. Ot × 1000 + Ko × 2000 → UnTin
- カ. Kin\_K + Kin → Kin\_K
- キ. Ot × 2000 + Ko × 1000 → UnTin
- ク. JmKin(Jm) + JmKin(n)
- ケ. Jm ≥ 15
- コ. UnTin + SyaKin → Kin\_K

# [イベント駆動型BASIC選択者のための問題]

2008.01 2-⑧

【7】 第1図のようなあるマラソン大会の申込者データを入力し、処理条件にしたがって第2図の実行形式のように表示するプログラムの空欄をうめなさい。

フォーム

マラソン大会参加申込

入力してください

氏名

年齢

種目コード

---

現在の種目別申込者数

種目名	申込者数	最年少申込者年齢
Label1	Label2	Label3

(第1図)

実行形式

マラソン大会参加申込

入力してください

氏名

年齢

種目コード

---

現在の種目別申込者数

種目名	申込者数	最年少申込者年齢
10km男子	211	16
?	?	?
フルマラソン女子	182	20

(第2図)

## 処理条件

(1) 第3図の配列 S\_Kodo には種目コード，配列 Mei には種目名をフォームロード時に記憶する。

### 配列

S_Kodo	101	102	~	402
	(1)	(2)	~	(10)
Mei	10km男子	10km女子	~	フルマラソン女子
	(1)	(2)	~	(10)

(第3図)

(2) 第2図のように氏名から種目コードまでを入力し、「申込」ボタンをクリックすると第1図の Label1 から Label3 を毎回表示する。

(3) 種目コードをもとに，第3図の配列 S\_Kodo を探索し，第4図の配列 Syukei に現在の種目別の申込者数を集計する。

### 配列

Syukei			~	
	(1)	(2)	~	(10)

(第4図)

(4) 第5図の配列 Saisyo に種目別の最年少申込者年齢を記憶する。なお，第3図から第5図のすべての配列は添字で対応している。

### 配列

Saisyo			~	
	(1)	(2)	~	(10)

(第5図)

(5) 表示に関する設定は，第2図の実行形式のとおりとする。また，申込者はすべての種目におり，入力データにエラーはなく，操作は正常に行われるものとする。

```
Option Explicit
Dim S_Kodo(1 To 10), Saisyo(1 To 10) As Integer
Dim Mei(1 To 10) As String
Dim Syukei(1 To 10) As Long

Private Sub Command2_Click() (クリア)
    Call Syokyo
End Sub

Private Sub Command3_Click() (終了)
    End
End Sub

Private Sub Syokyo() (消去)
    Text1.Text = ""
    Text2.Text = ""
    Text3.Text = ""
End Sub
```

```
Private Sub Form_Load()
    Dim t As Integer
    S_Kodo(1) = 101
    }
    S_Kodo(10) = 402
    Mei(1) = "10km男子"
    }
    Mei(10) = "フルマラソン女子"
    For t = 1 To 10
        (ア) = 0
        Saisyo(t) = 999
    Next t
    Label1.Caption = ""
    Label2.Caption = ""
    Label3.Caption = ""
    Call Syokyo
End Sub

Private Sub Command1_Click() (申込)
    Dim Nmae As String
    Dim Nen, Kodo, n, s As Integer
    Nmae = Text1.Text
    Nen = Val(Text2.Text)
    Kodo = Val(Text3.Text)
    n = 1
    Do Until (イ)
        n = n + 1
    Loop
    Syukei(n) = Syukei(n) + 1
    If Nen < Saisyo(n) Then
        (ウ)
    End If
    Label1.Caption = ""
    Label2.Caption = ""
    Label3.Caption = ""
    (エ)
    Do Until s > 10
        Label1.Caption = Label1.Caption & _
            (オ) & _
            Chr(13) & Chr(10)
        Label2.Caption = Label2.Caption & _
            Format(Syukei(s), "#,##0") & _
            Chr(13) & Chr(10)
        Label3.Caption = Label3.Caption & _
            Format(Saisyo(s), "##0") & _
            Chr(13) & Chr(10)
        s = s + 1
    Loop
End Sub
```

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成19年度 (第38回) 情報処理検定試験プログラミング部門 第2級  
解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

1	2	3	4	5

【3】

1	2	3	4	5

【4】

問 1			問 2		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
			回		

小 計

..... [COBOL] ・ [イベント駆動型BASIC] .....

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【7】

(ア)	
(イ)	
(ウ)	
(エ)	
(オ)	

試験場校名	受験番号	選 択 言 語	
		COBOL	イベント駆動型 BASIC

小 計

合 計

選択言語を  で囲むこと

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成19年度 (第38回) 情報処理検定試験プログラミング部門 第2級  
審査基準

【1】

1	2	3	4	5
カ	ク	ウ	ケ	オ

各2点  
計10点

【2】

1	2	3	4	5
ケ	コ	カ	エ	ア

各2点  
計10点

【3】

1	2	3	4	5
ア	イ	ウ	イ	ウ

各2点  
計10点

【4】

問1			問2		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
イ	エ	カ	5回	525	ウ

問1各2点  
問2各3点  
計15点

小計
45

..... [COBOL] .....

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
ク	ウ	コ	カ	エ

各3点  
計15点

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
キ	ケ	エ	ア	カ

各4点  
計20点

【7】

(ア)	SYUKEI-T
(イ)	S-KODO(N) = KODO
(ウ)	MOVE NEN TO SAISYO(N)
(エ)	SEIBETU = 1
(オ)	MEI(S)

各4点 計20点

試験場校名	受験番号	選択言語
		COBOL イベント駆動型 BASIC

選択言語を  で囲むこと

小計
55

合計
100

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成19年度 (第38回) 情報処理検定試験プログラミング部門 第2級  
審査基準

【1】

1	2	3	4	5
カ	ク	ウ	ケ	オ

各2点  
計10点

【2】

1	2	3	4	5
ケ	コ	カ	エ	ア

各2点  
計10点

【3】

1	2	3	4	5
ア	イ	ウ	イ	ウ

各2点  
計10点

【4】

問1			問2		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
イ	エ	カ	5回	525	ウ

問1各2点  
問2各3点  
計15点

小計
45

〔イベント駆動型BASIC〕

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
ク	ウ	コ	カ	エ

各3点  
計15点

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
キ	ケ	エ	ア	カ

各4点  
計20点

【7】

(ア)	S y u k e i ( t )
(イ)	S _ K o d o ( n ) = K o d o
(ウ)	S a i s y o ( n ) = N e n
(エ)	s = 1
(オ)	M e i ( s )

(注) 大文字, 小文字および空白は問わない。

各4点 計20点

試験場校名	受験番号	選択言語
		COBOL <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">イベント駆動型 BASIC</span>

選択言語を  で囲むこと

小計
55

合計
100